

研究会報告

第1回東和大学国際研究会「統計物理学：理論、実験、計算機シミュレーション」

(1996年1月11日受理)

日時 1995年11月7日(火)～10日(金)

場所 東和大学福田ミネルバ会館

研究会趣旨

アジアの統計物理学研究者に参加を呼びかけ、最近多様に展開されている統計物理学のトピックスや応用の中から共通の類似性を探究し、同時に伝統的な手法や概念を新しい観点で再検討し、将来の統計物理学の展開を目指すことを目的とする。

今回は、特に、オーストラリア、香港、韓国、台湾等の近隣4ヵ国の研究者25名に参加を呼びかけ、次ぎのテーマで国際研究会を開催し、141名の参加および103編の論文発表があった。

(I) Cross-disciplinary physics

(II) Chaos

(III) Complex fluids

(IV) Structures and patterns

組織委員

福田敏南 (東和大、学長)	徳山道夫 (東和大、委員長)	原 啓明 (東北大)
石鍋孝夫 (山形大)	清水敏寛 (国士舘大)	志波康博 (京工繊大)
豊田 正 (東海大)		

The 1st Tohwa University International Meeting
on
Statistical Physics
Theories, Experiments and Computer Simulations

November 7-10, 1995
Fukuda Minerva Hall
Fukuoka, Japan

Organizing Committee:

Toshinami Fukuda	(President, Tohwa University)
Michio Tokuyama	(Chairman, Tohwa University)
Hiroaki Hara	(Tohoku University)
Takao Ishinabe	(Yamagata University)
Toshihiro Shimizu	(Kokushikan University)
Yasuhiro Shiwa	(Kyoto Institute of Technology)
Tadashi Toyoda	(Tokai University)